自分の考えが先、AIは後

学習でAIを使うときは、どの順番で使うとよいのだろう

課題の例：「学校のごみを減らすには、どうしたらよいか」

1 自分で考える



- ポスターで分別を
- 給食を残さない
- 使える紙は裏も使う

まず自分で
考えを書き出す

2 話し合う



- 水とうで紙コップを
- 減らす（友だち）
- 自分の考えとくらべる

ほかの人の考えを
聞いて広げる

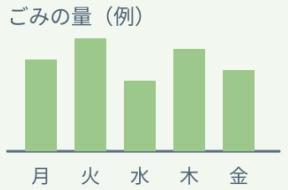
3 AIで足りない見方を探す

AI AIにたずねる

ごみの量を調べる
見方もあります

**量を調べる見方が
なかったと気づく**

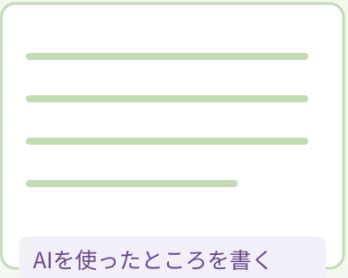
4 考え直す



- 1週間のごみの量を
- 調べてからポスター
- AIの見方も確かめる

自分たちで
考え直す

5 自分たちのことばでまとめる



自分たちのことばで
まとめて発表する

なぜ「自分の考えが先」なのか

自分の考えがないと、AIの
答えをそのまま使ってしまう

自分で考えるから、
考える力が育つ

自分の考えがあると、AIの
答えのよしあしを判断できる

※ 例は架空。AIを使うかどうか、どこで使うかは、学習の目的と学校のきまりで決める。